

かめおかプラスチックごみゼロ宣言

~日本初のレジ袋禁止条例と保津川のごみ問題

特定非営利活動法人プロジェクト保津川

原田禎夫

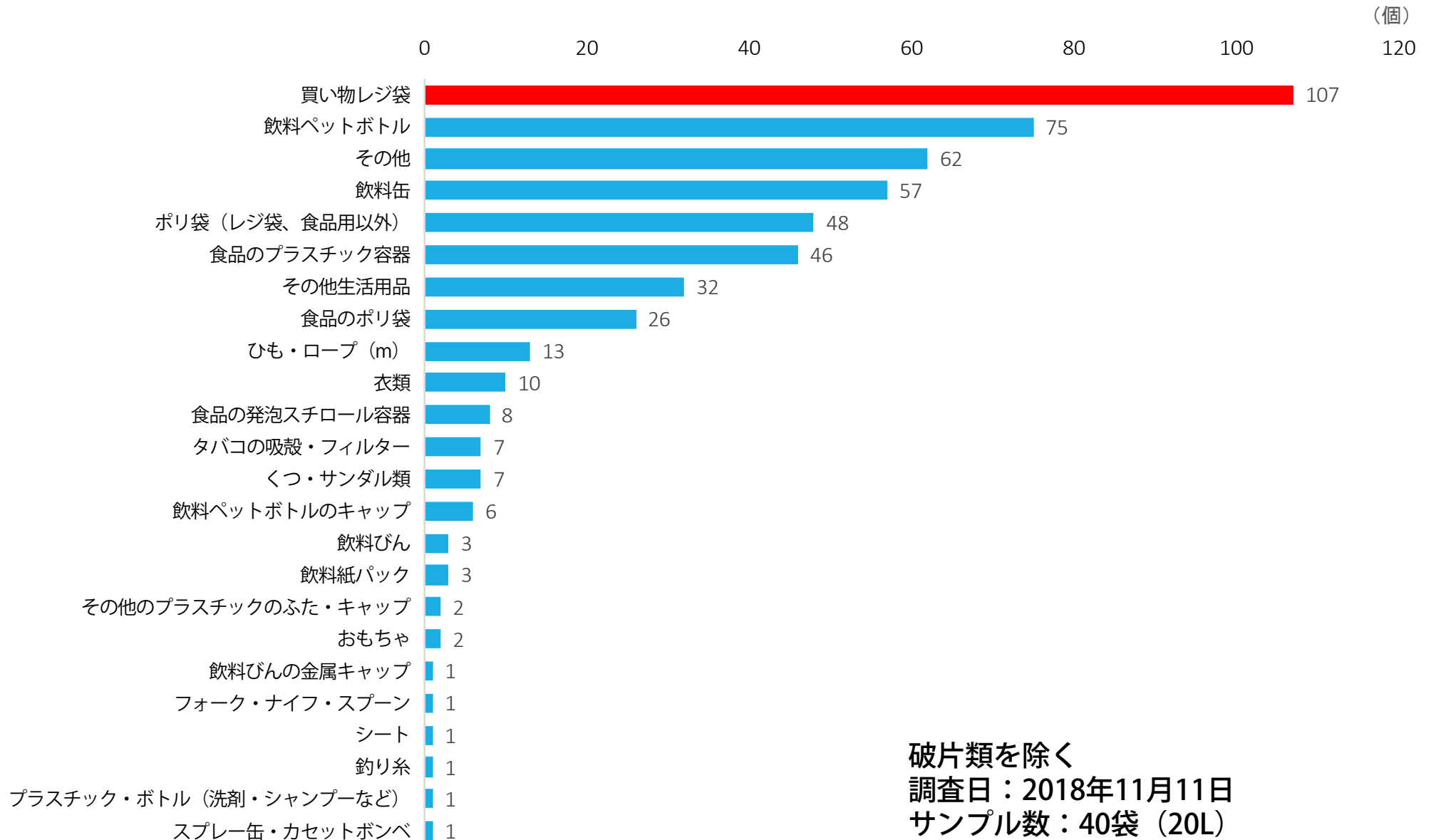
ここから来ました！



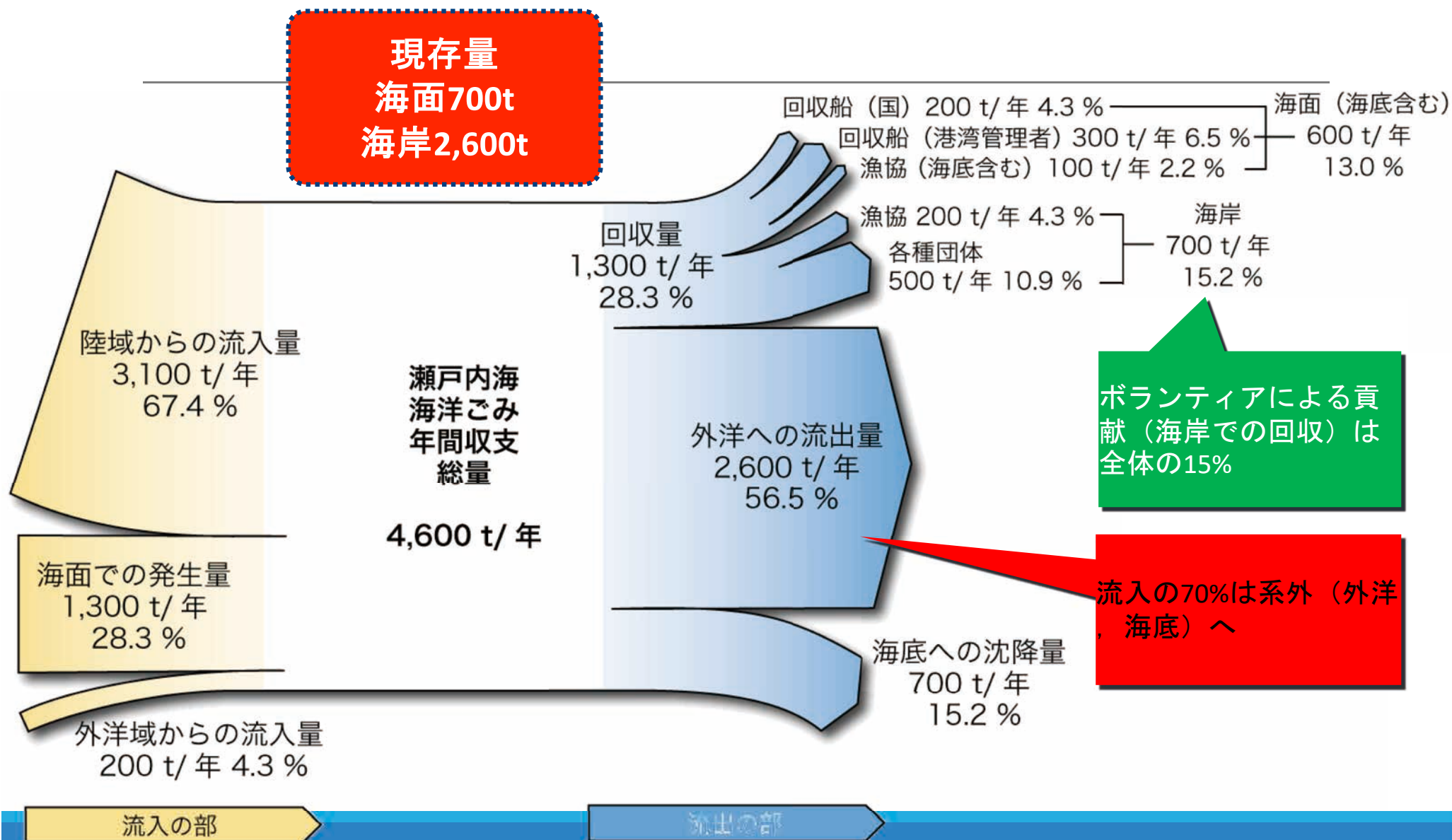
京都府亀岡市 保津川

京都

保津峡の漂着ごみの構成

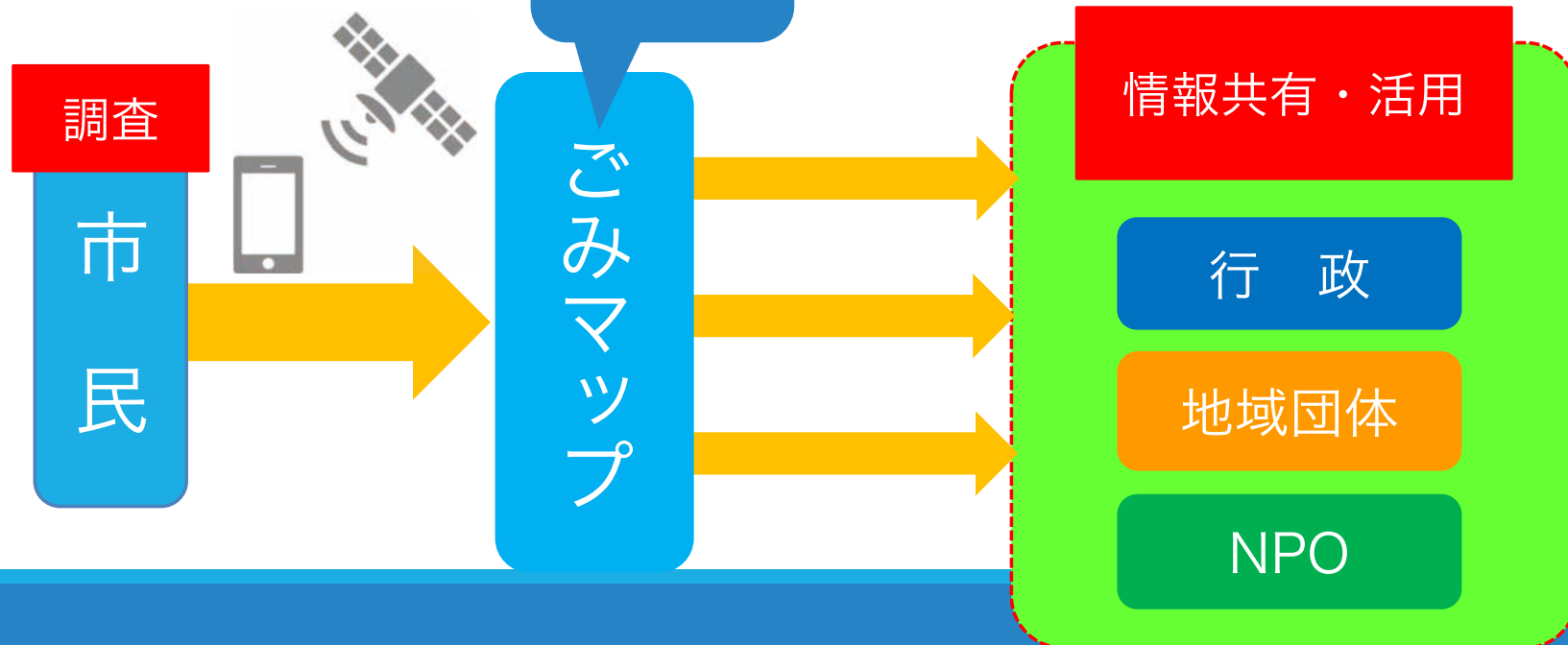


瀬戸内海における海洋ごみ収支モデル

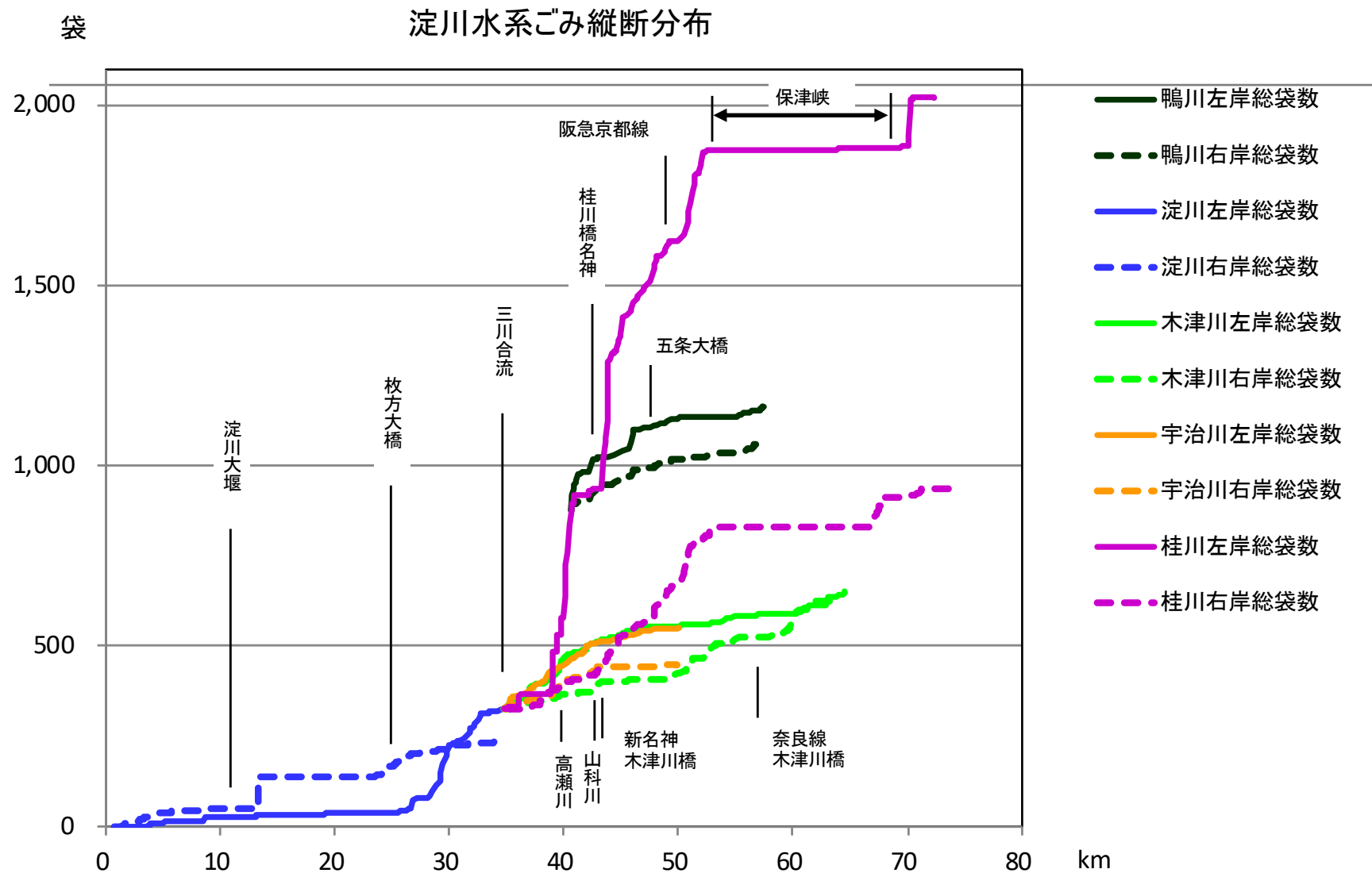




オンラインごみマップによるモニタリング



どこからごみはやってくる？



大阪湾のビニルごみによる漁業被害

■ 大阪湾に沈むビニルごみ



大阪湾の海底に沈降したビニルごみの総量の推定

今回の作業量：7km/hで鉄柵を引く（約15分間）

① 1回当たりの回収面積

幅1.2m×7.0km/h×0.25=約2,100m²

総回収面積

2,100m²×38回=79,800m² 約0.080km²

（6時30分から13回の作業で鉄柵のビニルを確認した回数）

② 採取区分

鉄柵に引っ掛かったビニル、レジ袋を写真判読

（実際には爪に複数の引っ掛けがあるため過小評価）

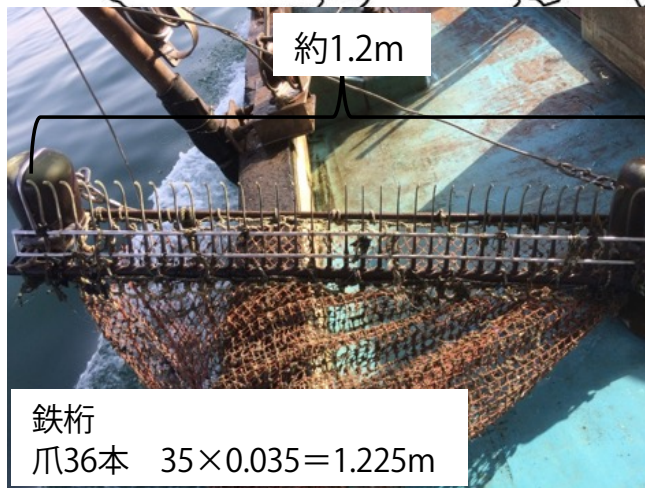
ビニル片 337枚

レジ袋 163枚

③ 大阪湾全体の分布（面積による比率から推定）

ビニル 約610万枚

レジ袋 約300万枚



注）漁具による採取を目視判読した数量のため、実際にはもっと多くの量が沈んでいると思われる。

調査年月日：2018.11.30

亀岡市 レジ袋禁止へ



宣言文を持つ桂川孝裕市長（手前右から2人目）＝京都府亀岡市で13日午前10時13分

宣言には、レジ袋を禁止してエコバッグ持参率100%を目指す取り組みのほか、家庭から出るプラスチックごみの回収率100%達成も明示。市のイベント



プラスチック製レジ袋の使用禁止などを目指し、京都府亀岡市と市議会が13日、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」をした。2020年度までに市内の小売店でのレジ袋の使用を禁止する条例を施行する方針。レジ袋を巡っては政府も小売店に有料化を義務づける方針を固めているが、市は廃止に向けてさらに踏み込む。現在、国内の自治体に同様の条例はないという。

20年度までに条例施行 宣言

市内にはスーパーやコンビニエンスストア、個人商店など計約760軒（14年度）の小売店があり、市はフランチやイズの店なども含め、すべてでレジ袋を禁止する構え。まず19年度中に全店舗のレジ袋を一律に有料化する予定で、既に協力呼びかけを始めている。桂川孝裕市長（55）は「レジ袋禁止で、全国に一石を投じたい」と話した。宣言について市に助言してきた原

でリユース（再利用）食器を使用するなどし、30年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指す」としている。今後協議する使用禁止条例では、罰則を設けることも検討している。



【国本ようこ、写真も】

田禎夫・大阪商業大准教授（43）「公共経済学」は「海洋ごみは海外からの漂着のみならず、国内の内陸部からの流出も多い。宣言で亀岡市が先進都市となり、他地域にも広げるきっかけとなる」と意義を述べた。亀岡市は京都市の西隣に位置するベッドタウンで人口は約8万9000人。市はプラスチックごみの海洋汚染が近年、社会問題になっていることを受け、12年に内陸部の自治体では初めて「海ごみサミット」を開催した。

プラスチックごみ削減に向けた 取り組みを表明している自治体

自治体名	宣言名	時期	内容
神奈川県	かながわプラごみゼロ宣言	2018/09	市町村・企業・県民にプラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止・回収等と呼びかけ、2030年までにプラごみゼロを目指す
鎌倉市	かまくらプラごみゼロ宣言	2018/10	プラごみゼロ宣言をしている県と連携し、レジ袋やプラスチック製ストローの利用廃止等を推進
亀岡市	かめおかプラスチックごみゼロ宣言	2018/12	国内初のプラ製レジ袋使用禁止の条例化（2020年度）や2030年度までのプラごみの100%リサイクルの実現
大阪府 大阪市	おおさかプラスチックごみゼロ宣言	2019/01	公共施設での使い捨てプラスチックごみの削減、大阪エコバッグ運動の推進、新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの構築

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」 に至るまで

- 1990年代 保津川にプラスチックごみが増えはじめる
- 2004年 保津川遊船ハートクリーン活動開始
- 2006年 保津川開削400年、保津川クリーン作戦開催
- 2007年 保津川遊船エコグリーン委員会・NPO法人プロジェクト保津川設立
- 2009年 亀岡市第4次総合計画前期基本計画策定
➤「漂着ごみの発生抑制」に取り組むことを内陸部の自治体で初めて明記
- 2012年 第12回海ごみサミット亀岡保津川会議開催
- 2013年 川と海つながり共創プロジェクト設立
- 2017年 第3回川ごみサミット亀岡保津川会議開催

かめおかプラスチックごみゼロ宣言

<めざす目標>

1. 市内の店舗でのプラスチック製レジ袋有料化を皮切りに**プラスチック製レジ袋禁止**に踏み切り、**エコバッグ持参率100%**を目指す取組みを進めます。
2. 「保津川から下流へ、そして**海にプラスチックごみを流さない。**」世界規模の海洋汚染（マイクロプラスチック）問題に立ち上がる意識のつながりを呼び掛けます。
3. 当面発生するプラスチックごみについては**100%回収し、持続可能な地域内資源循環**を目指します。
4. 使い捨てプラスチックの使用削減を広く呼びかけ、市内のイベントにおいても**リユース食器や再生可能な素材の食器**を使用します。
5. 市民や事業者の環境に配慮した取組みを積極的に支援し世界最先端の『**環境先進都市・亀岡**』のブランド力向上を目指します。

亀岡市におけるエコバッグ等の持参及びレジ袋の大幅削減の取組みに関する協定

2019/5/29締結

- 株式会社マツモト（スーパー等）
- 協同組合亀岡ショッピングセンター（スーパー等）
- イオンリテール株式会社（スーパー等）
- 株式会社ハートフレンド（スーパー等）

2019/6/28締結

- 株式会社平和堂（スーパー等）
- 株式会社やまむらや（精肉店）

2019/7/29締結

- 亀岡市商店街連盟（中小小売店）
- 亀岡商業協同組合（中小小売店）
- 京都信用金庫（金融機関）
- 京都タクシー株式会社・新京都タクシー株式会社（タクシー）



レジ袋禁止条例案のポイント

- 全ての事業者は、事業所においてプラスチック製レジ袋を提供してはいけない。また、紙や生分解性の袋であっても無償で提供してはいけない。
- 市は、レジ袋禁止に関する市民及び事業者への啓発を行うとともに、レジ袋禁止による効果を検証するために必要な調査を行う。
- 市は事業者に対する指導や助言、立入調査、違反者に対する是正勧告、従わない場合の店名公表ができる。
- 市、市民及び事業者は、レジ袋禁止について互いに協力する。

KAMEOKA FLY BAG Project



みずのき美術館



MIZUNOKI MUSEUM of ART
KAMEOKA



わたしたちに出来ることは何だろう？

